

エリザベト音楽大学

エリザベト演奏グレード検定試験課題

【留意事項】

1. 暗譜の有無は科目によって異なります。
暗譜を必要とする科目＝声楽、ピアノ、弦楽器、副科ピアノ
ただし声楽、弦楽器の当日指定の課題については、暗譜の必要はありません。
暗譜を必要としない科目＝オルガン、チェンバロ、管楽器、打楽器
ただしオルガンのピアノ課題は暗譜です。
2. 任意の1曲は、クラシック作品あるいはそれに準ずるものとします。
3. 伴奏については以下の通りです。
伴奏を必要とする科目＝声楽(全グレード)、管弦打楽器(グレード7以上)
伴奏を任意とする科目＝管弦打楽器(グレード1～6)
※伴奏者は受験者が用意すること。ただし、声楽の技術課題コンクオーネ当日1曲指定の場合のみ、本学が伴奏者を用意します。
4. グレード10はグレード9を取得した方のみが受験できます。
5. 申込方法は、エリザベト音楽大学発行の『受験案内』を参照ください。

鍵盤楽器

ピアノ【2019年度版】

[指定のある課題以外は繰り返しなしで弾くこと]

グレード1

技術課題

以下の(1)及び(2)

- (1) 音階：ハ長調とイ短調。(短調は和声的短音階と旋律的短音階を続けて弾くこと。)

以下の奏法にしたがって弾くこと。テンポは 四分音符=60以上とする。

ハ長調



イ短調 (和声的短音階) (旋律的短音階)



- (2) F. バイエル F. Beyer : 《ピアノ教則本 Vorschule im Klavierspiel》第51番以降より1曲又は同程度の練習曲1曲。

楽曲

以下の(a)~(g)の中から1つを選択。

- (a) W.A. モーツァルト W.A. Mozart : 《メヌエットとトリオ》 KV1、《メヌエット》 KV2、《アレグロ》 KV3 の中から1曲。
- (b) D. ジェフロワ D. Geoffroy : 《カイエ・ドゥ・ルモワンヌ1》より1曲。
- (c) C. グルリット C. Gurlitt : 《こども音楽会 Der erste Vortrag》 op. 210より1曲。
- (d) W. ギロック W. Gillock : 《はじめてのギロック Accent on Solos》より1曲。
- (e) J. S. バスティン J. S. Bastien : 《バスティン先生のお気に入り Bastien Favorites》 レベル1、レベル2の中から1曲。
- (f) 中村佐和子 : 《かぶとむしがきょうだいで》より1曲。
- (g) 林光 : 《ピアノの本》より1曲。

グレード2

技術課題

以下の(1)及び②)

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット1つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調（和声的短音階・旋律的短音階両方とする。）1組を試験時に指定。
以下の奏法にしたがって弾くこと。 テンポは四分音符=100以上とする。

ハ長調

♩=100以上

イ短調 (和声的短音階)

♩=100以上

(旋律的短音階)

- (2) F. ルクーペ F. Le Coupey : 《ピアノの練習 ABC L'ABC》 op. 17より1曲又は同程度の練習曲1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)

- (1) J. S. バッハ J. S. Bach : 《アンナマグダレーナのためのクラヴィーア小曲集 Die Klavierbüchlein für Anna Magdalena Bach》より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
 - (a) W. A. モーツァルト W. A. Mozart : 《ウィーン・ソナチネ第1番 Viennese Sonatina no.1》より1つの楽章。
 - (b) J. ブルグミュラー J. Burgmüller : 《25の練習曲 25 Easy Studies》より1曲。
 - (c) B. バルトーク B. Bartók : 《子供のために For Children》第1巻より1曲。
 - (d) D. D. ショスタコーヴィチ D. D. Shostakovich : 《人形の舞曲 Dances of the Dolls》より1曲。
 - (e) W. ギロック W. Gillock : 《こどものためのアルバム Album for Children》より1曲。
 - (f) 湯山昭 : 《ピアノ曲集 こどもの国》より1曲。
 - (g) 平吉毅洲 : 《南の風》より1曲。

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット2つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調（短調は和声的短音階と旋律的短音階両方弾くこと）1組を試験時に指定、奏法は《ハノン》第39番に準ずる（4オクターブ）。テンポは四分音符=100以上とする。
- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
 - (a) F. ルクーペ F. Le Couppey : 《ラジリテ L'Agilité》 op. 20より1曲。
 - (b) H. ルモアーヌ H. Lemoine : 《こどものための50の練習曲 Études enfantines》 op. 37より1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)

- (1) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
 - (a) J. S. バッハ J. S. Bach : 《フランス組曲 Französische Suiten》 BWV 812-817 より1つの舞曲。
 - (b) J. S. バッハ J. S. Bach : 《小プレリュード、小フーガ Kleine Präludien und Fughetten》より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
 - (a) 《ソナチネアルバム》第I巻よりソナチネの1つの楽章（緩徐楽章を除く）。
 - (b) R. シューマン R. Schumann : 《こどものためのアルバム Album für die Jugend》 op. 68より1曲。
 - (c) P. I. チャイコフスキー P. I. Tchaikovsky : 《こどものためのアルバム Album for the Young》 op. 39より1曲。
 - (d) E. H. グリーグ E. H. Grieg : 《抒情小曲集 Lyric Pieces》より1曲。
 - (e) A. I. ハチャトゥリアン A. I. Khachaturian : 《少年時代の画集 Pictures of Childhood》より1曲。
 - (f) W. ギロック W. Gillock : 《抒情小曲集 Lyric Preludes in Romantic Style》より1曲。
 - (g) 平吉毅洲 : 《虹のリズム》より1曲。

グレード4

技術課題

以下の(1)及び②。

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット3つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定（4オクターブ）。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は1回のみで繰り返しなし。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。テンポは四分音符=100以上とする。
- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
 - (a) C. ツェルニー C. Czerny：《30の練習曲 Études de mécanisme》op. 849より1曲。
 - (b) J. ブルグミュラー J. Burgmüller：《18の練習曲 18 Etüden》op. 109より1曲。

楽曲

以下の(1)及び②。

- (1) J. S. バッハ J. S. Bach：《インヴェンション Inventionen》BWV 772-786 より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
 - (a) 《ソナチネアルバム》第Ⅱ巻より1つの楽章（緩徐楽章及び『ソナチネアルバム2』(全音楽譜出版社)より第10番 L. v. Beethoven：《Sonatine no.5 G-Dur》、第11番 L. v. Beethoven：《Sonatine no.6 F-Dur》、第12番 J. Dussek：《Sonatine no.4 A-Dur》op.20を除く)。
 - (b) F. シューベルト F. Schubert：《楽興の時 Moments musicaux》op. 94より1曲。
 - (c) F. ショパン F. Chopin：《ワルツ集》より1曲。
 - (d) J. イベール J. Ibert：《物語 Histoires》より1曲。
 - (e) D. B. カバレフスキー D. B. Kabalevsky：《ソナチネ》op. 13-1 より第1楽章又は第3楽章。
 - (f) 湯山昭：《日曜日のソナチネ》より1曲全楽章。
 - (g) 田中カレン：《星のどうぶつたち》より1曲。

グレード5

技術課題

以下の(1)及び②。

- (1) 全調の音階の中から、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は1回のみで繰り返しなし。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐ旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。テンポは、四分音符 = 120以上。
- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
 - (a) C. ツェルニー C. Czerny：《40の練習曲 Schule der Geläufigkeit》op. 299より1曲。
 - (b) M. モシユコフスキー M. Moszkowsky：《20の小練習曲 20 Petites Études》op. 91より1曲。

楽曲

以下の(1)及び②。

- (1) J. S. バッハ J. S. Bach：《シンフォニア Sinfonien》BWV 787-801 より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
 - (a) 《ソナタアルバム》第Ⅰ巻、第Ⅱ巻より1つの楽章（緩徐楽章を除く)。
 - (b) D. スカルラッティ D. Scarlatti：《ソナタ》より1曲。
 - (c) F. シューベルト F. Schubert：《即興曲 Impromptus》op. 90、op. 142より1曲。
 - (d) R. シューマン R. Schumann：《森の情景 Waldszenen》op. 82より1曲。
 - (e) C. ドビュッシー C. Debussy：《2つのアラベスク Deux Arabesques》より1曲。
 - (f) H. カスキ：《ピアノ小品集 Klavierstücke》より1曲。
 - (g) 中田喜直：ピアノのための組曲《時間》《光と影》より1曲。

グレード6

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 全調の音階とアルペッジオ（テンポは、四分音符＝120）。平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番及び第41番に準ずる。長調は1回のみで繰り返しなし。短調は和声的音階に続きカデンツなしですぐ旋律的音階を弾いた後にカデンツをつけること。アルペッジオは長調・短調とも繰り返しをつけ、続けて弾くこと。
- (2) 以下の(a)～(c)の中から1つを選択。
 - (a) C. Czerny : 《Kunst der Fingerfertigkeit (50の練習曲)》 op. 740より1曲。
 - (b) M. Clementi : 《Gradus ad Parnassum》より1曲。
 - (c) M. Moszkowski : 《15 Etudes de virtuosité (15の練習曲)》 op. 72より1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. S. Bach : 《Das Wohltemperierte Klavier (平均律)》第1巻 BWV 846-869、第2巻 BWV 870-893 より任意のフーガ1曲。
- (2) 5分程度の任意の曲（複数でもよい）。

例

 - (a) W. A. Mozart : 《ピアノ・ソナタ》KV 332、533、570 より
 - (b) L. v. Beethoven : 《ピアノ・ソナタ》op. 2-1、10-1、10-2、14-2 より
 - (c) F. Chopin : 《Nocturne》より
 - (d) R. Schumann : 《Phantasiesstücke (幻想小曲集)》op. 12より
 - (e) J. Brahms : 《Zwei Rhapsodien》op. 79-1、79-2より
 - (f) C. Debussy : 《Suite bergamasque》より
 - (g) D. Shostakovich : 《24 Préludes》op. 34より
 - (h) 尾高尚忠 : 《ソナチネ》より

グレード7

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 全調の音階とアルペッジオ（平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番及び第41番に準ずる。長調は1回のみで繰り返しなし。短調は和声的音階に続きカデンツなしですぐ旋律的音階を弾いた後にカデンツをつけること。アルペッジオは長調・短調とも繰り返しをつけ、続けて弾くこと。テンポは、四分音符＝138以上）。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
 - (a) I. Moscheles : 《24の練習曲》op. 70より1曲。
 - (b) C. Czerny : 《Schule des Virtuosen (60の練習曲)》op. 365より1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. S. Bach : 《Das Wohltemperierte Klavier (平均律)》第1巻 BWV 846-869、第2巻 BWV 870-893 より1組のプレリュードとフーガ。
- (2) 7分程度の曲（抜粋可）。

例

 - (a) W. A. Mozart : 《ピアノ・ソナタ》KV 331、576
 - (b) L. v. Beethoven : 《ピアノ・ソナタ》op. 26、53、81a、90
 - (c) C. M. v. Weber : 《ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調》op. 24

- (d) F. Chopin : 《Ballade 第1番》op. 23、《Ballade 第2番》op. 38、《Ballade 第3番》op. 47、《Scherzo 第1番》op. 20、《Scherzo 第2番》op. 31、《Scherzo 第3番》op. 39
- (e) R. Schumann : 《ピアノ・ソナタ第2番 ト短調》op. 22、《Variationen über den Namen Abegg (アベッグ変奏曲)》op. 1
- (f) J. Brahms : 《ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調》op. 1、《ピアノ・ソナタ第2番 嬰ハ短調》op. 2
- (g) C. Saint-Saëns : 《Allegro Appassionato》op. 70
- (h) G. Fauré : 《Nocturne》op. 33-2、33-3、37、《13曲の Barcarolle》より
- (i) C. Debussy : 《Estampes (版画)》
- (j) M. Ravel : 《ソナチネ》
- (k) S. Rachmaninoff : 《Morceaux de fantaisie (幻想小品集)》op. 3 より
- (l) 有馬礼子 : 《失われたものへの3章》より

グレード8

技術課題

F. Chopin、F. Liszt の練習曲集より任意の1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. S. Bach : 《Toccaten》BWV 911-916 より1曲全曲。
- (2) 10分程度の曲(複数でもよい)。

例

- (a) J. S. Bach / F. Busoni 編曲 : 《Chaconne aus der Partita d-moll für Violine (シャコンヌ)》
- (b) W. A. Mozart : 《Fantasie ハ短調》KV475、《ピアノ・ソナタ ハ短調》KV457
- (c) L. v. Beethoven : 《ピアノ・ソナタ ヘ短調》op. 57、《ピアノ・ソナタ ホ長調》op. 109
- (d) F. Mendelssohn-Bartholdy : 《Variations sérieuses (厳格な変奏曲)》op. 54
- (e) F. Liszt : 《Ballade 第2番》
- (f) F. Chopin : 《Ballade 第4番》op. 52、《Scherzo 第4番》op. 54
- (g) A. Skryabin : 《ピアノ・ソナタ第2番 嬰ト短調》op. 19
- (h) C. Debussy : 《Image (映像)》第1集、第2集より
- (i) S. Prokofiev : 《ピアノ・ソナタ第1番》、《ピアノ・ソナタ第2番》

グレード9

技術課題・楽曲をあわせて30分程度のプログラムの演奏。

技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。

- (1) F. Chopin : 《練習曲集》op. 10、op. 25より2曲。
- (2) F. Liszt : 《Études d'exécution transcendante (超絶技巧練習曲)》より1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) バロック又は古典派の作品より5分程度の曲(複数でもよい)。
- (2) 15分程度の曲(複数でもよい)。

例

ソナタ全楽章、組曲全曲、変奏曲全曲、又はそれに匹敵する規模の作品。

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題（繰り返しをしてもよい）

F. Chopin の2つの《練習曲集》op.10及び op.25（但し、op.10-9と op.25-2を除く）、又は F. Liszt、C. Debussy、S. Rachmaninoff、A. Scriabin の練習曲集より、異なる作曲家の作品を2曲以上。

楽曲

近年の諸国際コンクールの課題曲又はそれと同レベルの曲（但し、バロック又は古典派の作品を含めることが望ましい）。

例

- (a) L. v. Beethoven : 《ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調》 op.109
- (b) L. v. Beethoven : 《ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調》 op.110
- (c) F. Chopin : 《ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調（葬送）》 op.35
- (d) R. Schumann : 《Symphonische Etüden（交響的練習曲）》 op. 13
- (e) J. Brahms : 《Variationen und Fuge über ein Thema von Händel（ヘンデルの主題による変奏とフーガ）》
op. 24
- (f) H. Dutilleux : 《ピアノ・ソナタ》
- (g) 矢代秋雄 : 《ピアノ・ソナタ》